

【登壇者プロフィール】

久保文明

防衛大学校長、東京大学名誉教授。1956年生まれ。東京大学法学部卒、法学博士(東京大学)。慶應義塾大学・東京大学教授等を経て2021年より現職。コーネル大学等での客員研究員、パリ政治学院招聘教授、ウッドローウィルソン国際学術センター研究員、アメリカ学会会長等を歴任。主要著書に『アメリカ政治史』、『アメリカ政治史講義』、『フランクリン・ローズヴェルト』など。

鈴木健

明治大学情報コミュニケーション学部教授。ノースウエスタン大学よりコミュニケーション学博士 (PhD)。専門は政治コミュニケーション論とディベート研究。主編著書に、『政治レトリックとアメリカ文化—オバマに学ぶ説得コミュニケーション』（朝日出版社、2010年）、Political Communication in Japan: Democratic Affairs and the Abe Years (Cambridge Scholars Publishing, 2023年)。

清原聖子

明治大学情報コミュニケーション学部教授。慶應義塾大学より博士（法学）。フルブライト博士論文研究フェロー、安倍フェローとしてジョージタウン大学で研鑽を積む。情報通信学会・インターネット政治研究会主査。主要著書に『教養としてのアメリカ研究』（編著、大学教育出版、2021年）、Internet Election Campaigns in the United States, Japan, South Korea, and Taiwan（編著、Palgrave, 2018年）など。

兼子歩

明治大学政治経済学部准教授。北海道大学大学院文学研究科単位修得退学、文学修士（北海道大学）。専門はアメリカ社会史。主要著書に『「ヘイト」に抗するアメリカ史』（共編著、彩流社、2021年）など。共訳書に『クィアなアメリカ史（再解釈のアメリカ史・2）』（勁草書房、2023年）など。

下斗米秀之

明治大学政治経済学部准教授。明治大学大学院政治経済学研究科 博士（経済学）。専門分野はアメリカ経済史。主要業績に『現代アメリカ経済論—新しい独占のひろがり』（共著、日本評論社、2023年）、“Brain Drain from India to the U.S. during the Cold War: Focus on Technology Transfer and the Development of Highly Skilled Talent,”（『国際武器移転史』18号、2024年）など。

小川凜

明治大学情報コミュニケーション学部助手。修士（情報コミュニケーション学）。現在は鈴木健研究室所属の情報コミュニケーション研究科博士課程2年。専門は説得コミュニケーション論。研究テーマは、トランプ現象と陰謀論レトリック。